

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 暮らしと環境 ナンバリング：1009	保育士資格取得のための 選択科目	単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：高橋 努 担当形態：単独
科目	教養科目		
教科目	外国語、体育以外の科目		
授業の到達目標及びテーマ 1. 現代社会の暮らしや生活と、親と子を取り巻く環境について探求し、その意義を理解できる。 2. 地域社会に根づく暮らしや環境が子どもの育ちに与える影響を理解できる。 3. 講義や現地調査で得た知見を発表し、自らの考えを説明することができる。			
授業の概要 親と子を取り巻く暮らしや環境について理解するためには、「地域」や「生活」そのものを理解しようとする必要がある。そのため、本講義では歴史・社会・自然・文化といった様々な視点から地域における生活から、そこに住まう人々の暮らしと環境を分析し、生活に及ぼす影響、特に子どもの育ちに及ぼす影響について考察を深めていく。			
授業計画 第 1 回：オリエンテーション・本講義の目標と概要説明 第 2 回：暮らしを理解する①「住まい」から考える 第 3 回：暮らしを理解する②「地域」から考える 第 4 回：研究テーマの設定とグループ分け 第 5 回：見学・現地調査①に向けた準備 第 6 回：見学・現地調査①（大学キャンパス） 第 7 回：見学・現地調査①の振り返り／②に向けた準備 第 8 回：見学・現地調査②（羽生市内外の公共空地等） 第 9 回：見学・現地調査②の振り返り／③に向けた準備 第10 回：見学・現地調査③（羽生市内外の公共空地等） 第11 回：見学・現地調査③の振り返り／全体振り返り 第12 回：見学・現地調査結果の整理と分析 第13 回：報告資料の作成とプレゼンテーションの準備 第14 回：調査研究成果の発表 第15 回：総括 定期試験：レポート		授業時間外の学習 ・本授業では「暮らし」をテーマに扱う。日常の生活を題材に、調査研究活動を行うため、意識的に情報収集などに努めること。 ・現地調査にあたり各回1～2時間程度の事前準備を要する。 ・調査レポート及び最終レポート並びにグループ発表にあたり、文献調査や資料の分析を行う（課題ごとに3時間程度）。	
授業の方法 講義、見学・現地調査（各自で移動できることが条件）・個人及びグループによる発表を行う テキスト 講義の中で紹介する。			
参考書・参考資料等 笹尾和宏「PUBLIC HACK：私的に自由にまちを使う」学芸出版社、2019.			
学生に対する評価 レポート（20%）、グループ発表（30%）、授業内課題・参画度（50%）を総合的に評価する。 ※教員と学生間の成績評価に関する認識を統一するためにルーブリックを活用する。			
履修上の注意 本授業は、集中講義期間に開講する（具体的な開講日は掲示板にて確認すること）。主に羽生市内外での見学・現地調査を行う（各自が交通手段を使って集合し、参加できることを履修条件とする）。見学・現地調査の詳細は、オリエンテーション時に説明する。一部で材料費などが必要となることがある。			
実務経験の有無	無	実務経験	
実務経験を活かした教育内容			